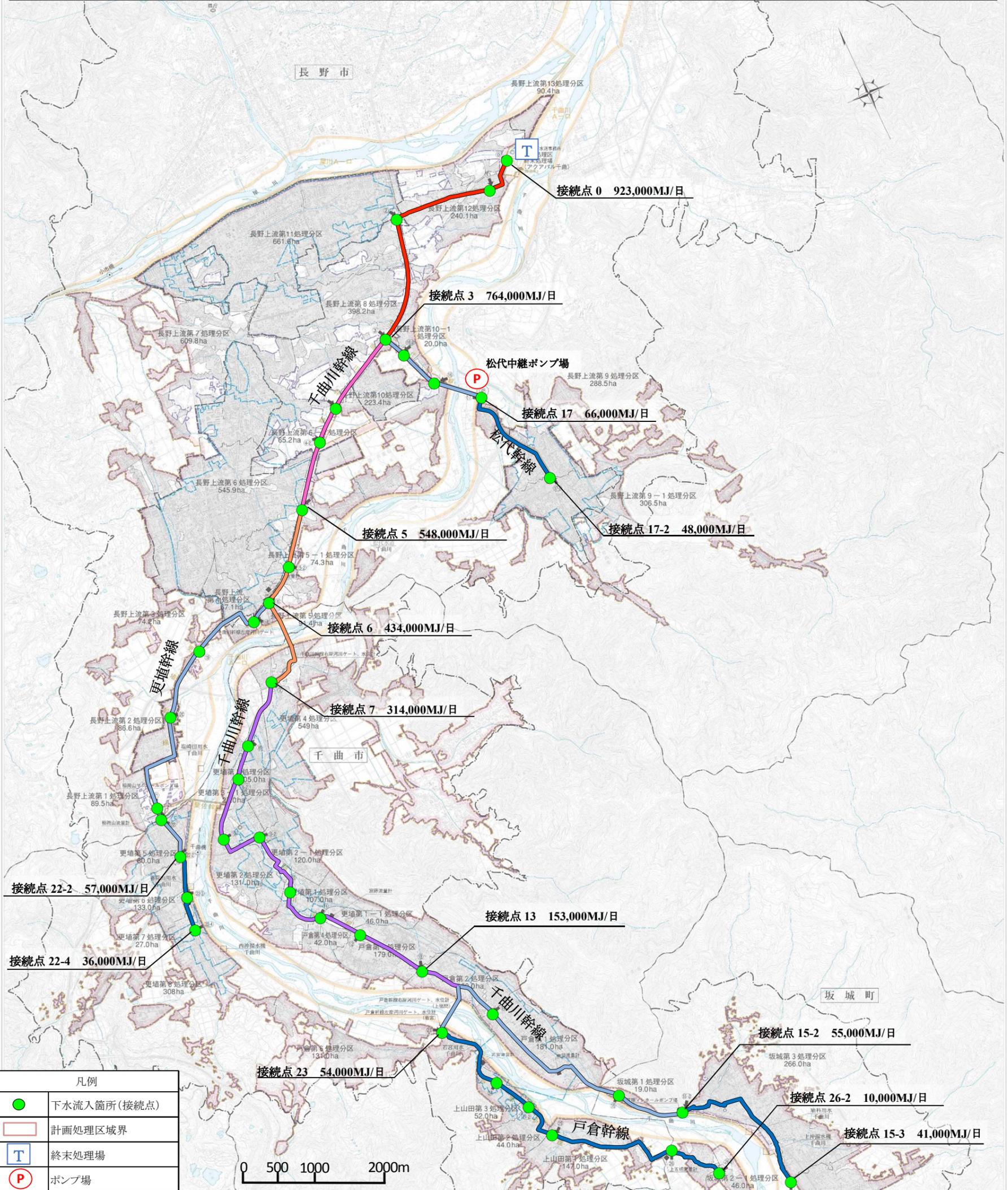


平成二十八年三月

# 千曲川流域下水道(上流処理区) 下水熱ポテンシャルマップ (冬季 温度差利用5K) 全域図



凡例	
<span style="color: green;">●</span>	下水流入箇所(接続点)
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	計画処理区域界
<span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">T</span>	終末処理場
<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">P</span>	ポンプ場

ポテンシャル量(MJ/日)	住宅給湯負荷相当の世帯数の目安(戸)
500 ~ 10,000	14 ~ 280
10,000 ~ 50,000	280 ~ 1,400
50,000 ~ 100,000	1,400 ~ 2,800
100,000 ~ 300,000	2,800 ~ 8,600
300,000 ~ 500,000	8,600 ~ 14,000
500,000 ~ 750,000	14,000 ~ 21,000
750,000 ~ 1,000,000	21,000 ~ 28,000
1,000,000 ~	28,000

※直近3年間平均ポテンシャル(冬季)  
 ※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。  
 ※集合住宅の給湯負荷原単位(空調学会)126[MJ/年]  
 住宅1世帯の延べ床面積100m<sup>2</sup>と想定。

